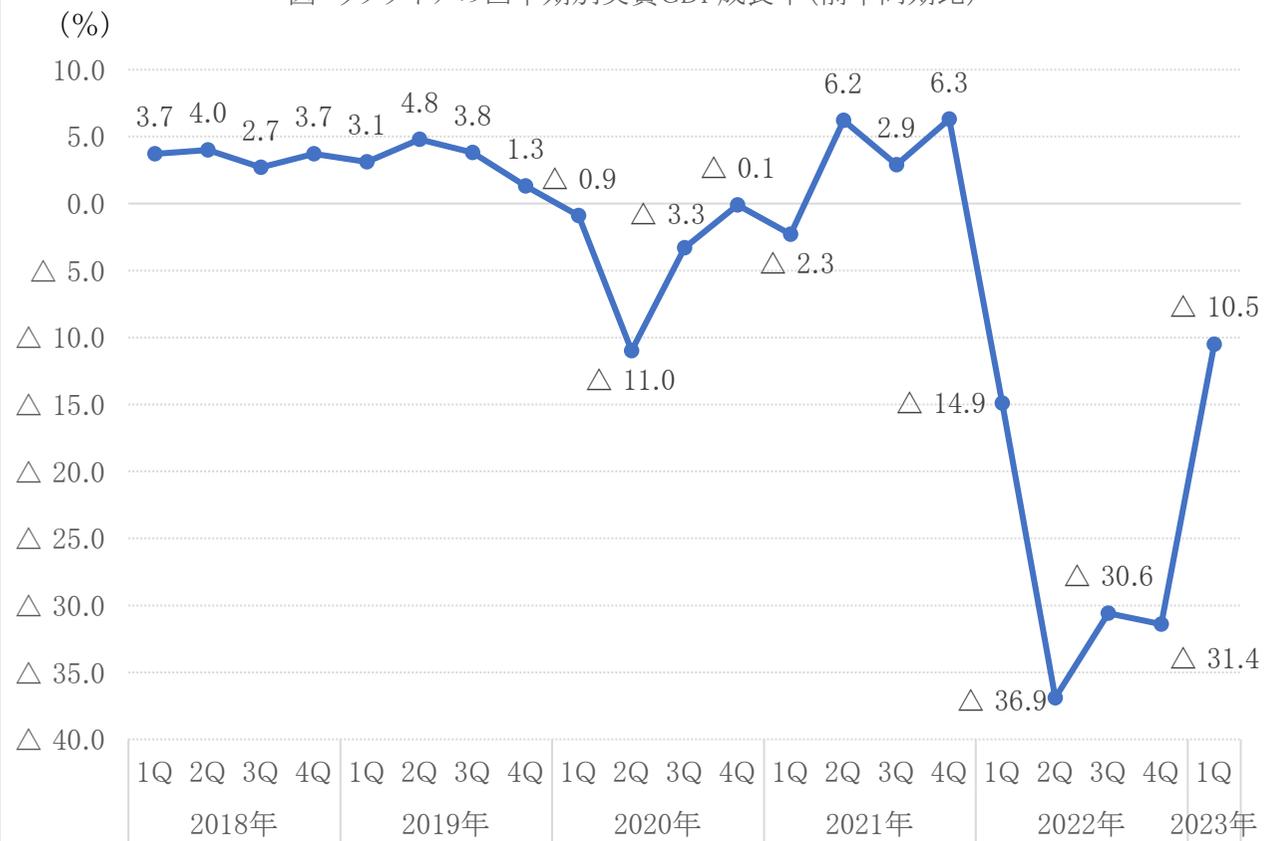


図 ウクライナの四半期別実質GDP成長率(前年同期比)



(出所)ウクライナ国家統計局

表 カホフカ水力発電所ダム決壊のウクライナ経済への影響

| 分野         | 影響の概要   |
|------------|---|
| 電力         | カホフカ水力発電所は2022年9月以降、スタッフ退避により稼働していないため、ウクライナの電力システムの機能に影響はない。ヘルソン州、ミコライウ州の一部で電力施設水没による停電が発生。                  |
| 農業         | ヘルソン州のドニプロ川右岸にある1万ヘクタールの農地に影響。ロシアが支配する左岸の広い地域でも悪影響が生じている。ドニプロペトロウスク、ヘルソン、ザポリジヤ各州の灌漑システムへの給水が遮断。               |
| 物流、住宅、インフラ | ドニプロ川を通じた黒海への輸送や、ヘルソン州の道路網にも深刻な影響が出る可能性がある。   |
| 産業         | クリビーリフの企業は水の消費を制限している。同市にあるアルセロール・ミタルの製鉄所も水の消費を制限し、多くの製造工程を停止。ドニプロ川沿いにある合金鉄(フェロアロイ)メーカーの水消費量が減少し、生産も減る可能性がある。 |
| 環境、人的被害    | 環境保護・天然資源省による環境破壊の被害推計額は550億フリブニャ(15億ドル、1ドル=36.6フリブニャ)。1万7,000人が避難中。ロシアに支配された地域では2万5,000人が避難できずに残留。           |

(出所) 経済戦略センターウェブサイト(6月13日時点)